

特別寄稿！

田中康夫の

だから、言わんこっちゃない！

出張版

黒船軍団の利権「閉い込みカジノ」は巨大温泉ホテルと同じオワコンだ！ 公金で海外視察の国会議員と真逆な自腹主義のYasuyuki、10か国のカジノ体験に基づき、井川意高氏とは異なる視点で看破！

「体温の感じられる社会」という原稿を『月刊VERDAD』9月号に書きました。既に「サンデー毎日」8月11日号でもネタを踏まえて詳述したように、日本経済新聞の「主要商品・サービスシェアの74品目の世界市場調査」でエレクトロニクス分野13品目の上位5社に日本企業は皆無。5つに分類されている医薬品も皆無。化粧品・腕時計・ビール・洗濯機・太陽光パネル等も皆無。有機ELパネルも大型液晶パネルも上位5社を韓国・中国・台湾の企業が独占です。日本企業が上位5社独占したの

は、1年間に22%も市場規模が縮小したデジタルカメラとA3レーザー複写機・複合機の2品目のみ。斯くも日本経済は衝撃的な空洞状態なのに、口先だけの「ガバナンス」と「コンプライアンス」で逃げ切る吉本興業を始めとして、凡そ組織の体を成していない。経団連加盟企業が胸を張るメルトダウンどころかメルトスルーな日本。こうした中、横浜港運協会の藤木幸夫会長に象徴される「自分で考え語り動く」地頭。を持った方々の警句に耳を傾けよ、と寄稿しました。

反対に「体温の感じられない社会」というのは、1979年にマーガレット・サッチャーが「社会なんてものは存在しない。自分で自分の面倒を見るのが国民の義務だ」と「自己責任論」掲げて首相に就任したのが始まりです。今や英国の保守党員はドナルド・トランプよりも三百代言なボリス・ジョンソンを選び、米国を真ん中に大西洋、太平洋を挟んで米英日が21世紀の「3国同盟」を締結する機運。こうした中で「カジノは街を滅ぼす」と1時間半も会見た御年89歳にして鑿鑿たる藤木さんはマハティール・ビン・ムハマドのような人だよ。横浜市が計画するIRは、宿泊も食事も全てカジノの建物内で独り占めする令和の「閉い込み運動」だと見抜いたんですね。

外の中華街でご飯を食べる。近隣のホテルに泊まって会議や商談を行う。ビジネスとして訪れるパパやママだけでなく、その子供や祖父もファミリー・デステイネーションとして楽しめるのが本来のIRインテグレートッド・リゾートの筈。しかも見本市会場は展示の設置や撤収の人員、人や物の運搬と雇用の裾野が広い。三方良しで、お金が回るじゃないかと。

実は日本で一番大きな東京ビックサイトでも10万㎡に満たず、その規模は世界77位です。欧米、中国、韓国の足元にも及ばない。横浜港運協会の山下ふ頭でのプランは25万㎡規模で世界トップ10に入る。しかも世界で唯一、船舶が横付け可能な保税地域。通関せずに展示可能だ。このアドヴァンテージを活かさない手はないと。

この40年間の経済的新自由主義とやらはシヤンパン・ピラミッドのトリクルダウンを目指すトナルド・リーガンもマーガレット・サッチャーも日本の政治家も述べて

いたけど、一向に事は落ちてこない。ピラミッドの頂点の連中が酔っぱらってるだけ。そしてカジノの実施主体は誰かといえど「黒船軍団」だ。日本の会社も名前を運ねたところで、早い話が売上の8割方はアメリカやシンガポール、マカオ、香港が本社の「黒船軍団」に持って行かれちゃう。そのバキューム現象は、ダム建設と似てる。八ツ場ダムに象徴される総事業費の7割を国が、3割を地元自治体が負担する巨大ダム事業は8割の金額が中央のゼネコンに流れていく。孫請け・ひ孫請けを含めて地元には2割だから1割も持ち出し。しかもカジノの場合は日本国内に落ちずに国外にミツグ君外交する話だからね。

知らない仲じやない大王製紙創業家三代目の井川意高さんも自身の体験を踏まえて「日本のIR法IIカジノ法は何も知らない童貞と処女がAVの脚本を書いているレヴェルだから（百戦錬磨な海外のカジノ業者にとっちゃ）赤兎の手を捻るようなものだ」

と以前に「週刊新潮」で話してたでしょ。因みにギャンブラーは、娼婦や泥棒と同じ世界最古の職業。と僕が言い切ると、その三つを職業という名で一緒にするのはポリテikal・コレクトネスに反するとパヨクの皆さんは脊髄反射するんだよね。だから、純粹真つ直ぐクンだと小林よしのり閣下（下）に小馬鹿にされちゃうんだよ。しかも、清く正しい社風の岩波書店のドル箱な「罪と罰」のフォードル・ドストエフスキーは博徒として自分の人生を破滅させた経験が名作を生んだのですからね。

その上で解説を続けると、誰もが一度は買ったことのある宝くじ。これもギャンブル。総務省が胴元でみずほ銀行が事務代行してるから違う、なんて訳もない。中央競馬は農水省、地方競馬は総務省、競艇は国交省。競輪とオートレースは経産省が所管する公営ギャンブル天国ニッポン。役人の天下り組織ですね。パチンコパーラーに至っては全国に1万

田中康夫 YouTube 公式チャンネル「だから、言わんこっちゃない！」
<http://tanakayasu.me/youtube>
<https://www.youtube.com/user/LoveNippon/>

店舗もある。ギャンブル依存症をバヨの皆さんが心配する一方、エセ保守なウヨの皆さんはバチンコを廃止してカジノの時代だと息巻いてるけど、その彼らが「大好き」な韓国はバチンコを全廃して国民向けカジノを江原に設けたら深刻な社会問題だよ。そもそも「やってる感」内閣はカジノを全国3箇所ポッキリで誘致合戦させてるのだから、それでバチンコ全廃したら全国各地で暴動になるよ。

内閣官房副長官を7人の首相の下で務めた旧自治省出身の石原信雄さんは市町村税課長の経験を踏まえて、全国1万店舗のバチンコバーラーの税収を全国の自治体に納付する形を考えるべきだと日経の「私の履歴書」で述べていたけど卓見だと思っね。それは企業の各地域での活動量に応じて課税する外形標準課税の発想。法人税は国に、法人事業税は本社登記地に納めるから、工場を誘致したって固定資産税しか入らないのが日本の税制。

国が召し上げた法人税の中から地方交付

税として「愛い自治体」に割り振る「中央集権」から真つ当な「地域主権」にするのが外形標準課税。石原プランは鋭いんだよ。永田町のワンワンをしながらナニワの辺りで「身を切る改革」と拳を挙げてる香ばしい方々こそ気付くべきなのにな。

横浜は人口が減少していくからカジノを中核としたIRで税収アップさせると女性市長が見したけど、「超少子・超高齢社会」ニッポンは全ての自治体が直面してるの。白紙から推進に大転換した会見でメディアの皆さまに詰問されて、市長室に戻った瞬間に資料が宙を舞う映像が「報道特集」で流れてツイッターで拡散されてるけど、僕は思ったね。不透明な磨り硝子越しでなしに、透明なガラス張り執務室に改造しておけば、自制心も働いたのになあと。

「異次元の劇薬」でなく、持続可能な経済効果を生み出す具体的プランを発表した藤木さんも微笑してると思う。港の見える丘公園を「カジノの見える丘公園」にしたから、ブルー・ライト・ヨコハマがマカオの

金ぴかネオンサインに一変しちゃう。

なあって先日來、YouTubeでヤッシー節を炸裂させてたら、「お前はカジノに行つたことあるのか」と何通もメールを頂戴したので、本邦初告白。ラスヴェガス、シンガポール、マカオ、モナコと一通りは経験しているの。まあ、お上りさん気分ですロケットマシンをPGフレンドと大分前にちよこつとね。アゼルバイジャンの首都バクイのカジノも訪れたけど、こはシロヴィキと呼ばれるロシアの高官をオリガルヒと呼ばれる新興の富豪が「接待」する場所として映画「007 ワールド・イズ・ノット・イナフ」にも登場していたでしょ。

マカオだって一時期は「賄賂社会」として名高い中国の高官を経営者が「夜總會」とセットで「接待」する場所として活況を呈したのは周知の事実。ディーラーと呼ばれるスタッフと示し合わせて、雇った「プロ」が途中から取って負けて「合法的」に資金洗浄する仕組み。ところが、習近平が自分の周囲以外には腐敗撲滅を徹底したか

ら閉古島。

「開発独裁国家」としてリー・クワンユーが「明るい北朝鮮」を築き上げたシンガポールで、ドナルド・トランプちゃまの盟友シエルドン・アデルソンが経営するマリリーナ・ベイ・サンズだつて、スロットマシンに興ずる観光客のみで「採算」が取れる訳もないでしょ。

19世紀半ばに一攫千金を西海岸に求めたゴールドラッシュの中継点としてネバダ砂漠に誕生したラスヴェガスは、1973年の為替レートでハマコーが5億円を稼いだ頃と違って収益構造がカジノ40%、ショー&イヴェント30%、飲食&ショッピング15%、宿泊15%と変貌を遂げたけど、それは世界最大の全米家電見本市CESやIBMだのアップルだのの新製品発表会を地道に誘致したからだよ。

マネーロンダリングのカジノに対して、サロンとしてのカジノもヨーロッパには多い。例えばヴェネチアの運河沿いで163

8年から営まれる世界最古のカジノにはジャコモ・カサノヴァも通い詰めたらしいけど、歴史の年輪を感じさせる落ち着いた佇まいだし、ドイツの黒い森に隣接する温泉保養地のパーデン＝パーデンにはマレーネ・ティートリッジが「世界で最も美しい」と褒め称えたカジノがあつて、そりゃ雰囲気全然違う。

自慢じゃないけど自腹で10ヶ国のカジノに出掛けるヤッシーは、税金を使ってキンキラキンなマカオやシンガポールを視察してカジノ通だと思込んでる首長や議員とは違うのよ。まあ、ルーレットだのバカラはルールも知らないし怖いから、ギャンブルとして眺めただけですけれどね。

そうそう、8月末に知事選が行われた埼玉在住の若者からもDMを貰つたよ。深谷葱と草加煎餅だけが自慢のダサイタマ県民としては、カジノの前に「横浜ブランド」の再構築が先じゃね、とね。確かに同じ港町でも神戸はケーキやパンを買い求めに行

くイメージを確立しているものね。

それに宿泊施設が少なくなつて、小江戸・川越には困魂世代だけでなく若者も来てるしね。カジノは「開い込み運動」だと冒頭で述べたけど、それは多くの温泉地が迷路のような巨大旅館の中にカラオケも卓球ルームも夜食のラーメンも全部用意したのだから逆に「そぞろ歩き」しながらスマートフォンや射的を楽しんで、焼きトウモロコシを買い求める風情がなくなつたと似てるね。

大阪からJRで4時間も掛かるのに欧米からも旅行者が訪れる場所となつた城崎温泉は逆に部屋数が10〜15と団体客を取れない取らない温泉地だからこそ、共存共栄の「三方良し」な温泉地として復権したんだよ。カジノありきのオツムな皆さんは、地総債Ⅱ地域総合整備事業債で立派な文化施設を造れば自慢できると思込んでた20世紀末のハコモノ行政から脱却出来てない痛い人々なんだよ。

本稿は2019年6月2日 YouTube掲載の動画とまとめサイトを元に加筆・改稿しました。
「不毛なカジノ是非論争を超えて」#オサナイト → <http://tanakayasu.me/nice>